

社団法人秦野市シルバー人材センター 平成24年度事業計画

基本方針

当センターを取り巻く外部環境を概観してみると、まず経済面では、世界的な不況下、日本経済は一部通信、商社などの業績が徐々に好転しているものの、円高や東日本大震災、タイの洪水などの影響を受けた大手の電機、自動車等の製造業の業績が悪化しており、本格的に回復するかどうか予断を許しません。秦野市内の企業は製造業が多く、当センターへの受注にも影響があるかどうか注視していく必要があります。

次に、行政面をみると、秦野市の「公共施設再配置計画」による施設の整理統合により、当センターの契約状況にも影響があるものと予想されます。さらに、補助金については、幸い国の補助金は現状維持されたものの、市の補助金は、「行政改革プラン」により、平成27年度まで毎年減額されることになりました。

こういった厳しい外部環境に対応すべく、中・長期基本計画の中でも、財政の健全化を重要課題として取り上げられ、受注の伸びが期待されない中、人件費を中心にした経費の削減を図らなければなりません。また「就業機会の創出」、「組織運営の活性化」、「事業の推進体制の充実」、「会員の増強と研修制度の充実」、「就業の公平化と適正化」、「安全就業の徹底」等、当センターの運営に必要となる事業を推進していくことは言うまでもありません。

以上のことを踏まえて、平成24年度は第3次中長期基本計画の初年度として、次の8つの重点項目を中心に事業計画を進めてまいります。

1. 財政健全化を目指した改革

(1) 慣例を見直し改革に向けた取り組み

- ①職員の給与規程の見直しと給与の減額をする。
- ②「事業収入＝事業支出」の原則で予算編成をする。
- ③経費の見直しと効果的な運用に努める。

(2) 平成25年度の事務費改定に向けた準備

- ①企業・一般家庭の事務費率を8%に改定する。
- ②改定に向けた諸準備を進める。

2. 就業機会の創出に向けた活動の強化

- (1) 効率的な公共施設・民間企業訪問の実施
 - ①企業訪問の対象範囲を見直して訪問活動を継続する。
 - ②会員の出身企業の就業内容の情報収集に努める。
 - ③市の公共施設以外の受注についてPRと情報入手に努める。
- (2) 既存（受託・独自）事業の体制拡充
 - ①現在受託している企業等に向け、更に就業人員を増員してもらえよう、PRに努める。
 - ②既存の独自事業の強化を図り、就業人員の増員を推進する。
- (3) 個人家庭の受注拡大
 - ①職群グループと連携し、職種別チラシの個別配布を行う。
 - ②商工祭り・市民の日・センターフェスティバル時に効果的なチラシ配布を実施する。
 - ③家事援助グループと連携し、高齢者支援事業の構築を目指す。
- (4) 新規独自事業の開拓
 - ①洋服リフォーム事業の実施に向けて、諸準備を進める。
 - ②新規独自事業についてアイデアを募り、プロジェクトを編成し事業化の検討を行う。
- (5) 就業場所の確保に向けた様々な就業形態
 - ①発注者の希望に合わせ就職に繋がる無料職業紹介も実施する
 - ②発注者の希望と就業内容により派遣制度も積極的に活用する。

3. 会員の理解と参加で組織運営の活性化

- (1) 地域班活動の充実について
 - ①全地域班で副班長を選任し、班活動の充実をめざす。
 - ②全地域班で班会議の実施に向けて、班会議開催月間を設ける。
 - ③地区懇談会の充実で会員同士の交流促進をはかる。
 - ④地域貢献・会員交流促進をめざし、「地区活動の日」の充実を図る。
- (2) グループ（職群班）活動の連携・強化
 - ①グループ代表会議を定例化し、グループ間の連携強化に努める。
 - ②グループリーダー会議で、作業の安全及びお客様サービスの徹底を図る。
 - ③刃物研ぎ・大工・塗装班など事業強化に向けた検討をする。

(3) ひまわりの会活動の充実

- ①女性会員の増強と交流を目指し、地区懇談会の充実を図る。
- ②地区懇談会・班会議・地区活動の日などセンターの行事に積極的に参加するよう呼びかける。
- ③「エコたわし」に続く独自事業の商品化に取り組む。
- ④ふれあい倶楽部の事業にも積極的に参加する。

(4) ゴールドクラブの充実

- ①活動の主旨を徹底しメンバーの確保を図る。
- ②メンバーの意見を活動に反映する。
- ③センター事業のPRを積極的に実施する。

4. 事業の推進体制の強化

(1) 理事活動の充実

- ①情報・成功事例の修得に向け他センター視察研修を実施する。
- ②ふれあい倶楽部役員兼務の解消を検討する。
- ③専門部会活動の充実に向けて情報収集の強化を図る。

(2) プロジェクトチームの設置

- ①継続中の植木・草取り・草刈グループの新請負制度移行を進める。
- ②チップ化事業の課題解決に向け「チップ化事業検討プロジェクト」設置する。

(3) 事務局機能の充実

- ①業務の質的向上に向けて他センターとの交流を促進する。
- ②日常業務の見直しを図り、効率的な事務局運営に努める。
- ③みんなの約束を率先し実行する。(特に報告・連絡・相談)
- ④事務局だより、ホームページを見直し、タイムリーな情報提供に努める。
- ⑤積極的に作業現場・就業場所の訪問活動を実施する。

5. 会員の増強とお客様サービスの充実

(1) 新規会員の入会促進

- ①各種イベントを活用し会員募集と事業PRを実施する。
- ②会員友人・知人へのセンター事業のPRで入会促進を図る。
- ③入会説明会、入会手続きの方法について再検討する。

- (2) 各種研修・講習会の継続でサービス・技術の向上
 - ①新入会員研修会及び接遇講習会の内容を充実する。
 - ②草刈・植木・草取り・障子・襖グループなど自主研修で技術力の向上を図る。
 - ③班長会議に合わせ、班長研修会の実施を検討する。
 - ④センターの体系的な研修制度のあり方を検討する。
- (3) みんなの約束の徹底
 - 「みんなの約束」を徹底し、お客様に愛されるシルバー人材センターを目指す。

6. 就業の公平化と適正化

- (1) 就業交代及びワークシェアリング（仕事の分かち合い）
 - ①公共施設の交代期間の変更を検討する。
 - ②民間企業にも交代制を導入し、ワークシェアリングを進める。
- (2) 適正就業の徹底
 - ①新規契約先は適正就業ルールに照らし受託する。
 - ②適正就業の指導に基づき自主点検を実施する。

7. 安全就業及び仕事上のミス撲滅の徹底

- (1) 安全就業管理委員会メンバーによる就業箇所の巡回強化
 - ①各職群の作業前・作業中の安全就業ルールの厳守を徹底する。
 - ②前項の点検を中心に、就業箇所の巡回を強化する。
- (2) 事故防止の徹底
 - ①管理職群の事故・ミス事例に基づき就業時に指導を徹底する。
 - ②刈払機安全教育、自転車安全運転講習会などを実施する。
- (3) 年間を通じた安全就業意識の啓発
 - ①グループリーダー、安全対策員の安全就業の研修を実施する。
 - ②各種会議で、健康管理、交通安全などの意識啓蒙を図る。
 - ③安全標語の募集・表彰、さらに無事故日数ボードの活用による安全意識の徹底に努める。
- (4) 会員の健康管理の徹底
 - ①会員高齢化に対応した短時間就業制度を導入する。
 - ②健康なんでも相談の内容を見直す。
 - ③定期健康診断の受診促進、屋外作業の夏期一日休業を継続する。

8. 新公益法人への移行に伴う体制整備

(1) 諸規程の整備

新公益法人への移行により、運営上改正の必要なものから順次見直しをする。

(2) 入会承認等諸手続きの見直し

新公益法人への移行に伴い、入会説明会、入会手続き及び新入会員研修会まで、一連の流れを検討する。

専門部会及びプロジェクトの活動計画

部 会	内 容
総務部会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自分自身のミスを防ぐため、接遇研修会に改め実施 2. 新入会員研修会、新任地区班長研修会、新任役員研修の実施 3. 事業概要及び会報等の編集 4. 先進地視察研修の実施 5. ひまわりの会の運営への協力 6. 市内各種イベントへの参加協力
就業開拓部会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 企業の規模・地域・業種を整理することによる効率的な企業訪問 2. 未就業者相談会を充実し、未就業会員の希望職種等の整理・把握 3. 公民館等へのシルバー人材センター総合案内の配架依頼 4. 職群グループでのPR活動の実施 5. 洋服リフォーム事業の立上げとPR 6. タウンニュース等への記事掲載 7. 先進地視察研修の実施
普及啓発部会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各グループへ協力を求めながら独自事業の開始前のチラシ配布などを検討 2. タウンニュース等への掲載による事業PR 3. 公民館まつりにおけるPR活動 4. 市内各種イベントにおけるPR活動 5. 先進地視察研修の実施
安全就業管理委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. グループリーダー、安全対策員及びグループに対する安全研修による安全就業の徹底 2. 事故事例集の作成、安全標語の募集等による事故防止 3. 就業時点検、作業前チェック表記入等及び就業箇所の巡回強化による事故防止 4. AED講習会、自転車安全運転講習会等の実施 5. 健康なんでも相談、定期健康診断の受診促進、屋外作業の一日休業の実施による健康管理の徹底
ひまわりの会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 役員会の定例開催、総会・懇談会及び地区別懇談会の開催 2. 独自事業の立上げ 3. 先進地研修視察の実施 4. 市内各種イベント、ふれあい倶楽部の活動への参加協力
請負制度移行プロジェクト	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基準単価のまとめ 2. 就業会員に対する対応策検討 3. 既存顧客に対する対応策検討

